

「3・11いわて教会ネットワーク」ニュース

Vol.22 2013/12/15

岩手における主の働きのために今年も多くのお祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。今年最後のニュースをお届けします。今回は、岩手の北部、岩泉町を拠点として北三陸地方で主に仕え続けるダーン・パークナー宣教師にレポートを書いていただきました。岩手県南に比べると、注目されることが少なかった県北地域。しかし、この地にも支援が寄せられ、教会の働きがなされ続けていることに感謝しています。12月には被災地の各地で教会を通し、クリスマスのイベントが開催されます。祝福をお祈り下さい。

北三陸キリスト教会の働き ダーン・パークナー

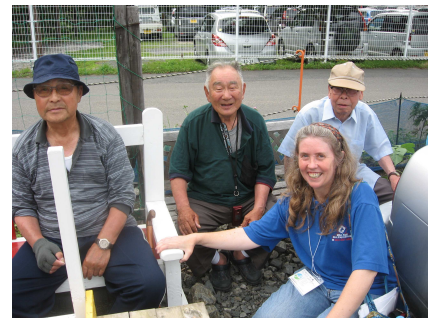
北三陸キリスト教会(以下、KSKK)は岩泉、小本、田野畑、普代、野田を含む北三陸地区の教会として2012年に始まり、岩泉と野田で礼拝が始まりました。人々との関係の中で、ことばと行いによって神の愛を表したいと願っています。北三陸地区にある教会としてKSKKは移動カフェ、子どもプログラム、物資配布、訪問などの働きによって仮設住宅などで北三陸地区の人々に仕えております。

KSKKは被災者とその地域に仕え、働いています。その応援に、3.11いわて教会ネットワークや、ボランティアを集める他の団体、そしてKSKKとの関係教会や個人が、KSKKに支援物資や経済的支援、ボランティア人材などを送って支援参加して下さっています。今日まで、21の都道府県と14の国々からのボランティアの方々がKSKKの活動のために、手伝いに来て下さいました。このように多くの方々の助けを頂き、KSKKは北三陸地区被災者とコミュニティに仕える活動を広くすることができました。その結果KSKKの活動は、2013年には北三陸地区にある11の仮設住宅の全てと関わることができました。

2013年になされた以下のような働きのゆえに神様をほめたたえます。

冬 (1)津波被災地においてイベントの後、毎月大人集会となり、しばらく後、子ども同伴でいらっしゃったため、子ども集会も開かれるようになりました。前に参加した一人は、学童保育で働く人でした。自らの職場と同じ建物の中で集会がなされていることを知り、それ以来、その子どもたちを集会に預けて下さるようになりました。集会の中では聖書や讃美歌を歌う時間もあります。(2)二つの新しい仮設で移動カフェを始めることができました。

春 (1)二つのところで日曜学校を始めるようになりました。(2)今まで入ることのできなかった仮設住宅に関わるきっかけが与えられました。一回の子ども会のためでした。理事会の代表の方がその活動を取り上げ、記事にしてニュースとして配布して下さいました。それ以後、子どもや大人のプログラムを定期的にもつことが可能になりました。(3)ご自宅の一階部分が津波のために被災した方々が、もっと大きな被害を受けた方々のことを気にして自らの体験を話せなかったのに、暖かい信頼関係が築かれる中で、自分の悩みについて話せるようになりました。(裏面に続く)



パークナー宣教師の訪問



北三陸教会で、礼拝後の様子



仮設住宅でクラフト教室を開催



仮設に響く賛美の歌声

夏 (1) 海岸の近くで津波被災者の方々とともに楽しいひと時を過ごしました。一人は「ふるさと」を海を見つめながら歌い、それが心の癒しにつながったようです。(2) 一人が自らの津波体験を初めて話してくれました。

秋 (1) 年配の方々から以下のようなことばを聞くことができ、霊的な関心が与えられていることに感謝しました。「50年前、私は毎週礼拝に参加していました。」「教会にまた行ってみたいです。」「讃美歌が好きです。私の東京にいる孫が日曜学校が大好きで、私も聖書のメッセージが好きです。」「いただいた新約聖書を読んでみました。いい内容でした。」「今年、キリスト教に興味が出てきました。」(2) 精神的疾患を抱える一人の方が礼拝に集うようになった後に回復が見られ、今は聖書を読み始め、よく仕えるようになりました。(3) ボランティアがきものを着て仮設住宅で茶道をして下さったことによって参加者は感動して、津波の前のような普通の人生の気持ちになった、と言われました。(4) 11あるすべての仮設住宅でカフェを開くことができました。

お祈り下さい。(1) 12月20～26日までの間、そしてさらに今後2年間、ボランティアの方々が引き続き与えられますように。KSKKに働き人やチームを定期的に送って下さる支援教会が与えられますように。KSKKの働きを支えて下さる長期(1～3ヶ月)のボランティアが与えられますように。教会の働きを長期的に[4年など]手伝うインターン志願者が与えられますように。(2) 経済的必要が満たされますように。(3) 霊的関心が与えられている方々がさらに求め、救われ、成長しますように。(4) 17のクリスマス・プログラムと、500家庭への“サンタ訪問”が祝されますように。

3.11いわて教会ネットワークNEWS



宮古市社会福祉協議会から表彰されました。

宮古地区では宮古コミュニティ・チャーチを通して地域への丁寧な支援が継続されてきましたが、その結果、11月17日に3.11いわて教会ネットワークは感謝状を頂きました。今後、地域へのさらに密着した関わりが可能になり感謝しています。

新しいスタッフが与えられました。

9月以降、以下の方々が新しいスタッフとして加えられました。感謝します。ラム・カーワイさん(釜石・大槌・山田)、ステファン&スー・ベイ宣教師(大船渡)、ゲルト&ハイケ・シュトラウス宣教師(一関)

9～11月に支援に駆けつけて下さった教会・団体

札幌西福音教会、港北ニュータウン教会、北海道チーム、シンガポール EPJM チーム、JCMM、田園グレース教会、岡山聖約教団チーム、フリーウィル・バプテストチーム、JIBC、東京聖書学院、New Song チーム、日本基督教団宮古教会、札幌希望の教会、JECA 西日本、IBF、JEA、同盟基督教団信州チーム、インドネシアチーム、JECA 中部チーム、キャニオンズ教会、チャペルこひつじ、平岡教会、TCU、札幌聖書教会、カベナント教会チーム、JECA 神奈川、コティッドプロジェクトチーム、こひつじキリスト教会、戸倉キリスト教会、東京インドネシア福音教会、JECA 南関東チーム、世界福音伝道団めぐみキリスト教会、インパクトチーム、盛岡聖書バプテスト教会、盛岡みなみ教会、北上聖書バプテスト教会、宮古コミュニティ・チャーチ、陸前高田キリスト教会
(その他、個人で駆けつけご奉仕下さった方々が多くおられます。)